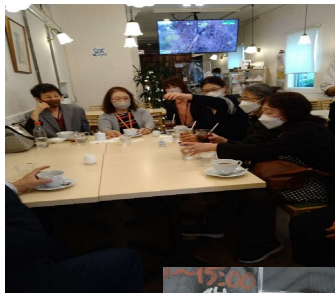



就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ダイニング街なか	事業所番号	1311701831
住 所	東京都北区十条仲原 1-11-1	管理者名	長 迫 園 子
電話番号	03-6454-3870	対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要	
<p><活動内容></p> <p>活動場所： ダイニング街なか 実施日程： 毎月第2水曜日 実施した生産活動・施設外就労の概要： オレンジカフェ(認知症カフェ)でのホール接客 利用者数 等： 1~2名</p>	<p><活動の様子></p>  
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい：これからの高齢化社会に地域ぐるみで取り組む 地域にとってのメリット：地域全体の理解を育む 対象者にとってのメリット：当事者・介護者の相談機会の拡大</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果・得られた成果：当事者・介護者の不安ストレスを除くことに多少なりとも貢献し、関係機関につながりもできた。 課題点：コロナの影響もあり、お茶を飲みながらリラックスした雰囲気当事者に楽しい時間を過ごしてもらうことができていない。</p>	

連携先の企業等の意見または評価			
<p>連携した結果に対する意見又は評価</p> <p>高齢者あんしんセンターが「ダイニング街なか」という場所を認知症の当事者及び介護者との相談・話し合いの場として確保したことでとてもリラックスした雰囲気でも本音で安心して話ができる。そのことが認知症の方々の発掘にもつながっている気がする。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <p>以前のようにお茶を飲みながら話ができるともっとリラックスできて当事者の方にとっても楽しみな時間・空間にできるのではないかと。また「街なか」のスタッフも障害者の高齢化を見据え理解を深めてゆくことが今後必要になってくるのではないかとと思われる。</p>			
連携先企業名	十条高齢者あんしんセンター	担当者名	島崎 陽子

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (全体)

事業所名	ダイニング街なか
住 所	東京都北区十条仲原 1-11-1
電話番号	03-6454-3870

事業所番号	1311701831
管理者名	長迫 園子
対象年度	令和4年度

(I) 労働時間	選択年度	②令和元年度	
①1日の平均労働時間が7時間以上			45 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		○	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満			
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動	選択年度	②令和元年度及び平成30年度	
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上			5 点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		○	

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(III) 多様な働き方 (※)			
◎	①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
	②利用者を職員として登用する制度		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
	④フレックスタイム制に係る労働条件		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎	⑤短時間勤務に係る労働条件		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎	⑥時差出勤制度に係る労働条件		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎	⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎	⑧傷病休暇等の取得に関する事項		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
小計 (注1)			9

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(IV) 支援力向上 (※)			
◎	①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○
	参加した職員が1人以上半数未満であった		
	参加した職員が半数以上であった		
◎	②研修、学会等又は学会誌等において発表		○
	1回の場合		
	2回以上の場合		
◎	③視察・実習の実施又は受け入れ		○
	いずれか一方のみの取組を行っている		
	いずれの取組も行っている		
◎	④販路拡大の商談会等への参加		○
	1回の場合		
	2回以上の場合		
	⑤職員の人事評価制度		○
	人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
	⑥ピアサポーターの配置		○
	ピアサポーターを職員として配置している		
◎	⑦第三者評価		○
	過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		○
	都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)			8

(※) 任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(V) 地域連携活動			
	地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
			1事例以上ある場合:10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	45
生産活動	5点		20点	25点		40点			5
多様な働き方	0点		15点	25点		35点			35
支援力向上	0点		15点	25点		35点			35
地域連携活動	0点			10点					10

合計	
130	点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間					
前年度（令和元年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	9,491	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	2,109	人
				利用者の1日の平均労働時間数	5
					時間
(Ⅱ) 生産活動					
会計期間（7月～6月）					
前々年度（平成30年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	6,825,766	円	利用者に支払った資金総額	9,261,352	円
				収支	▲ 2,435,586
					円
前年度（令和元年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	6,280,085	円	利用者に支払った資金総額	9,469,607	円
				収支	▲ 3,189,522
					円
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度（4年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）					
① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度 ◎ 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数 1名 ※ 取得を進めた免許等： 普通自動車運転免許 ○○○ 制度の活用内容： 有給休暇の取得、シフトの変更など	② 利用者を職員として登用する制度 ◎ 職員として登用した人数 ●名 ◎ うち1名は雇用継続期間が6月に達している ◎ うち1名は前年度末日まで雇用継続している ※ 登用した日 ●年 ●月 ●日 勤務形態： ○○○ 就業時間： ●時●分～●時●分 職務内容： ○○○	③ 在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律 ◎ 在宅勤務を行った人数 ●名 ※ 実施した期間： ●月●日～●月●日 就業時間（在宅勤務）： ●時●分～●時●分 職務内容： ○○○			
④ フレックスタイム制に係る労働条件 ◎ フレックスタイム制を活用した人数 ●名 ※ 実施した期間： ●月●日～●月●日 就業時間（コアタイム）： ●時●分～●時●分 職務内容： ○○○	⑤ 短時間勤務に係る労働条件 ◎ 短時間勤務に従事した人数 ●名 ※ 実施した期間： ●月●日～●月●日 就業時間（短時間）： ●時●分～●時●分 職務内容： ○○○	⑥ 時差出勤制度に係る労働条件 ◎ 時差出勤制度を活用した人数 1名 ※ 実施した期間： 7月1日～12月4日 就業時間（早出の場合）： ●時●分～●時●分 就業時間（遅出の場合）： 11時00分～16時00分 職務内容： ホール接客			
⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 ◎ 時間単位取得を活用した人数 ●名 ◎ 計画的付与制度を活用した人数 1名 ※ 取得した制度 有給休暇の時間単位取得 計画的付与制度 取得した期間： 4月1日～4月1日 取得日数・時間 1日 ●時間	⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項 ◎ 傷病休暇等を取得した人数 1名 ※ 取得した内容： 傷病（腰痛治療）○○○ 取得した期間： 10月21日～12月28日 就業時間： 11時00分～16時00分 職務内容： 食器洗い	(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載			
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度（4年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）					
① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 ◎ 研修計画を策定している ◎ 研修実施回数 外部 2回/内部 ●回 対象職員数 8人 うち研修受講者数 7人 ※ 研修名 知的障害の理解（絵論） 研修講師 仙北屋 雅人 実施日・受講者数 8月 27日 7人	② 研修、学会等又は学会誌等において発表 ◎ 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 1回 ※ 研修、学会等名 ボランティアフォーラム 実施日 2月 13日 ※ 学会誌等名 ○○○ 掲載日 ●月 ●日 発表テーマ 重度心身障がい児の夕食を実現する活動から「差別」を考える	③ 視察・実習の実施又は受け入れ ◎ 先進的事業者の視察・実習の実施している ◎ 他の事業所の視察・実習を受け入れている ※ 先進的事業者名 ○○○ 実施日/参加者数 ●月 ●日 ●人 ※ 他の事業所名 豊心会 ふれあいアグリ-caféふれあい十條店 実施日/参加者数 12月 1日 1人			
④ 販路拡大の商談会等への参加 ◎ 販路拡大の商談会等への参加回数 1回 ※ 商談会等名 自主製品販売会 主催者名 北区障害福祉課 日時 5月 12日 内容 会の主旨説明と各店の配置販売方法など	⑤ 職員の人事評価制度 ◎ 職員の人事評価制度を整備している ◎ 当該人事評価制度を周知している 人事評価制度の制定日 ●年 ●月 ●日 人事評価制度の対象職員数 ●名 うち昇給・昇格を行った者 ●名 当該人事評価制度の周知方法 ○○○	⑥ ピアサポーターの配置 ◎ ピアサポーターを配置している ◎ 当該ピアサポーターは「障害者7种ポスト研修」を受講している ※ 配置期間 ●月●日～●月●日 就業時間 職務内容 ○○○			
⑦ 第三者評価 ◎ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ※ 評価を受けた日 令和2年1月21日 第三者評価機関 NPO人材開発機構	⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等 ◎ 国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ※ 認証を受けた日 ●月 ●日 規格等の内容 ○○○	(※) 実績のうち1事例を記載			

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。必要に応じて行を増やす等。